

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体			
		Q 建築物の環境品質						3.0	
Q1 室内環境			0.31		-		2.5		
1 音環境		1.8	0.15		-		1.8		
1.1 室内騒音レベル		1.0	0.40		-				
1.2 遮音		2.2	0.40		-				
1 開口部遮音性能		3.0	0.60		-				
2 界壁遮音性能		1.0	0.40		-				
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			-		-				
4 界床遮音性能(重量衝撃源)			-		-				
1.3 吸音		3.0	0.20		-				
2 温熱環境		1.9	0.35		-		1.9		
2.1 室温制御		1.7	0.50		-				
1 室温		3.0	0.38		-				
2 外皮性能		1.0	0.25		-				
3 ゾーン別制御性		1.0	0.38		-				
2.2 湿度制御		1.0	0.20		-				
2.3 空調方式		3.0	0.30		-				
3 光・視環境		3.1	0.25		-		3.1		
3.1 昼光利用		3.0	0.30		-				
1 昼光率		3.0	0.60		-				
2 方位別開口			-		-				
3 昼光利用設備		3.0	0.40		-				
3.2 グレア対策		3.0	0.30		-				
1 昼光制御		3.0	1.00		-				
3.3 照度	500lx以上1000lx未満。	4.0	0.15		-				
3.4 照明制御		3.0	0.25		-				
4 空気質環境		3.3	0.25		-		3.3		
4.1 発生源対策		4.0	0.50		-				
1 化学汚染物質	建築材料は、JIS・JAS規格のF☆☆☆☆をほぼ全面的に採用。	4.0	1.00		-				
4.2 換気		3.0	0.30		-				
1 換気量		3.0	0.33		-				
2 自然換気性能		3.0	0.33		-				
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.33		-				
4.3 運用管理		2.0	0.20		-				
1 CO ₂ の監視		1.0	0.50		-				
2 喫煙の制御		3.0	0.50		-				
Q2 サービス性能			0.30		-		4.0		
1 機能性		4.0	0.40		-		4.0		
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40		-				
1 広さ・収納性	1人当たりの執務スペースが12㎡以上	5.0	0.33		-				
2 高度情報通信設備対応		1.0	0.33		-				
3 バリアフリー計画		3.0	0.33		-				
1.2 心理性・快適性		5.0	0.30		-				
1 広さ感・景観	事務所の天井高は3.0m以上となっており、窓も設置されている。	5.0	0.33		-				
2 リフレッシュスペース	執務スペースの1%以上のリフレッシュスペース+自動販売機等の設置。	5.0	0.33		-				
3 内装計画	快適な就業環境を目指した内装を計画している。	5.0	0.33		-				
1.3 維持管理		4.5	0.30		-				
1 維持管理に配慮した設計	喫煙所の床・壁は、防汚性の高い材料を採用。 エントランスホールの床は、コンクリート表面強化剤を採用。	5.0	0.50		-				
2 維持管理用機能の確保	事務所等の延床面積の0.2%以上を清掃用具室としている。	4.0	0.50		-				
2 耐用性・信頼性		3.7	0.30		-		3.7		
2.1 耐震・免震・制震・制振		4.6	0.50		-				
1 耐震性(建物のこわれにくさ)	弾塑性ダンパーで低降伏点鋼を採用した制震部材を使用。	5.0	0.80		-				
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20		-				
2.2 部品・部材の耐用年数		3.2	0.30		-				
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20		-				
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20		-				
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10		-				
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10		-				
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	主要な用途上位3種でB以上を使用しおり、Eは不使用。	5.0	0.20		-				
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20		-				
2.4 信頼性		2.2	0.20		-				
1 空調・換気設備		3.0	0.20		-				
2 給排水・衛生設備		3.0	0.20		-				
3 電気設備		1.0	0.20		-				
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20		-				
5 通信・情報設備		1.0	0.20		-				

3 対応性・更新性			4.2	0.30	-	-	4.2
3.1 空間のゆとり			5.0	0.30	-	-	
1 階高のゆとり	階高は3.9m以上としている。		5.0	0.60	-	-	
2 空間の形状・自由さ	[壁長さ比率]<0.1		5.0	0.40	-	-	
3.2 荷重のゆとり	平均床荷重: 13655(N/m ²)		5.0	0.30	-	-	
3.3 設備の更新性			3.2	0.40	-	-	
1 空調配管の更新性	-		3.0	0.20	-	-	
2 給排水管の更新性	-		3.0	0.20	-	-	
3 電気配線の更新性	-		3.0	0.10	-	-	
4 通信配線の更新性	OAフロアを採用することにより、仕上げ材を痛めることなく更新・修繕ができる。		5.0	0.10	-	-	
5 設備機器の更新性	-		3.0	0.20	-	-	
6 バックアップスペースの確保	-		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.39	-	-	2.5
1 生物環境の保全と創出	-		2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮	-		3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30	-	-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	-		3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上	-		2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.6
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	4.2
1 建物外皮の熱負荷抑制	BPI _m =0.69		5.0	0.20	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用	-		3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化	BEI _m =0.52、LED照明設備を採用。		5.0	0.50	-	-	5.0
4 効率的運用			2.0	0.20	-	-	2.0
集合住宅以外の評価			2.0	1.00	-	-	
4.1 モニタリング	-		3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制	-		1.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1 モニタリング	-		-	-	-	-	
4.2 運用管理体制	-		-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.4
1 水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水	自動水栓等に加えて節水型便器を採用している。		4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無	-		3.0	0.70	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無	-		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.5	0.60	-	-	3.5
2.1 材料使用量の削減	-		2.0	0.11	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用	-		3.0	0.22	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-		3.0	0.22	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	天井で使用: エコマーク認定番号第11123013号使用 床材で使用: エコマーク認定商品東リ株式会社使用		4.0	0.22	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材	-		-	-	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	壁・天井共LG5下地を採用し、躯体と仕上げ材が容易に分別可能になっている。再利用可能なOA707も採用している。		5.0	0.22	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.3	0.20	-	-	3.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用	-		3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.5	0.70	-	-	
1 消火剤	-		-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)	ODP=0、GWPが低い発泡剤(GWPが10未満)を用いた断熱材等を使用している。		4.0	0.50	-	-	
3 冷媒	-		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.2
1 地球温暖化への配慮	LCGO2排出率=77%		3.9	0.33	-	-	3.9
2 地域環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
2.1 大気汚染防止	燃焼機器を使用していない。		5.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善	-		2.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減	-		3.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制	-		3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制	適切な量の駐輪場と駐車場を確保し、荷捌き用駐車施設も確保している。		4.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制	-		2.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			2.7	0.33	-	-	2.7
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1 騒音	-		3.0	0.50	-	-	
2 振動	-		3.0	0.50	-	-	
3 悪臭	-		-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			1.6	0.40	-	-	
1 風害の抑制	-		1.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制	-		1.0	-	-	-	
3 日照阻害の抑制	-		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	光害対策ガイドラインのチェックリストの項目及び広告物照明の扱いの配慮事項の項目の過半を満たしている。		5.0	0.70	-	-	
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	-		3.0	0.30	-	-	